

## 卒業する中学生が感謝の気持ちを歌声に

3月9日、区役所玄関前では、区立阿佐ヶ谷中学校の3年生85名が、地域の方々に支えられた3年間の感謝の思いを歌声に乗せ披露しました。こうした卒業生の歌の披露は、長い歴史を持つ阿佐ヶ谷中学校でも初めての取り組みでしたが、多くの通行人が足を止め聴き入っていました。

阿佐ヶ谷中学校では、3月20日に卒業式を予定しています。今年、卒業する生徒は85名です。卒業式には、これまで自分たちを支えてくれた保護者や恩師、そして後輩たちに感謝の言葉の代わりに、合唱コンクールなどで練習をしてきた「あなたへ」と「3月9日」の2曲を歌うことにしていて、時間を見つけて練習を重ねてきました。



しかし、生徒の中から自分たちを見守ってくれた地域の方たちにも、何か感謝を伝えられないかと提案があり、歌の曲名である3月9日に、区役所の玄関前で合唱を披露することになりました。「3月9日」は、2004年3月9日に、ロックバンドのレミオロメンが発表した卒業式の定番ソングで、その歌詞は、中学生一人一人が新たな門出を迎えても、この中学校で学んだ3年間と仲間の絆は決して色あせないという思いと重なるものです。



3月9日午後0時15分、阿佐ヶ谷中学校を旅立つ生徒85名が登場し、「あなたへ」と「3月9日」の2曲を披露されると、歌声を聴き入っていたおよそ200人から、中学生の新たな門出に大きな期待を込めた拍手が巻き起こりました。

### 【問い合わせ先】

阿佐ヶ谷中学校 03-3314-2261